

# 平成24年度 再評価委員会

路線名：一般国道 207号(原田跨線橋)  
事業名：道路整備交付金事業

(再評価実施後5年経過のため再評価)

# 一般国道 207号 位置図



# 事業目的

踏切の一時  
停止による渋滞



踏切の遮断により、  
渋滞及び歩行者の滞留

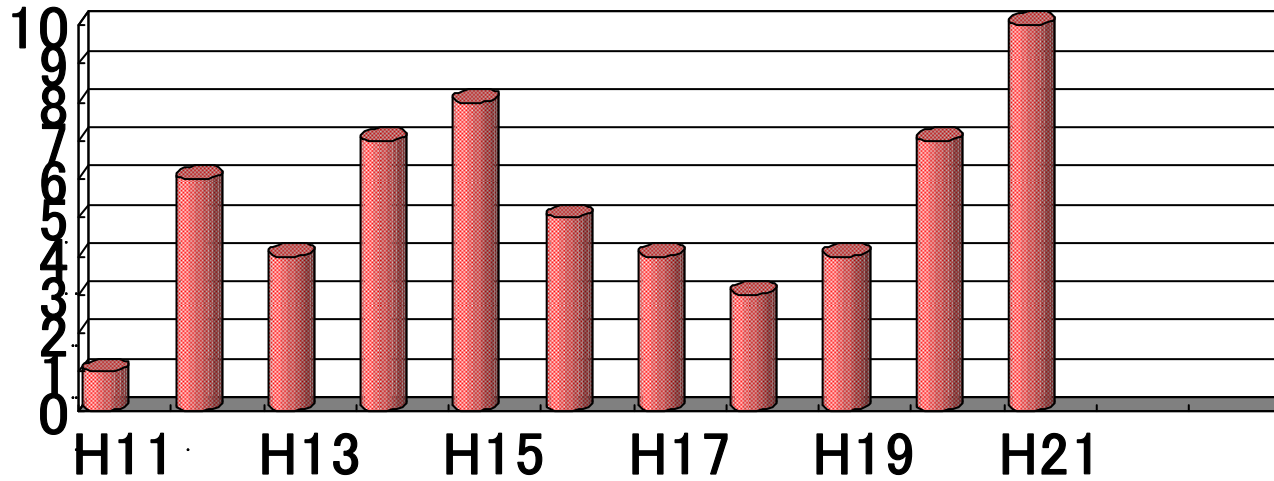


踏切除却(跨線橋)により

交通渋滞の解消、交通安全確保



- 事故の発生状況。過去11年間(H11～H21)で**59件**。



凡例	
★ (Blue)	1～5件
★ (Yellow)	6～10件
★ (Red)	11～ 件

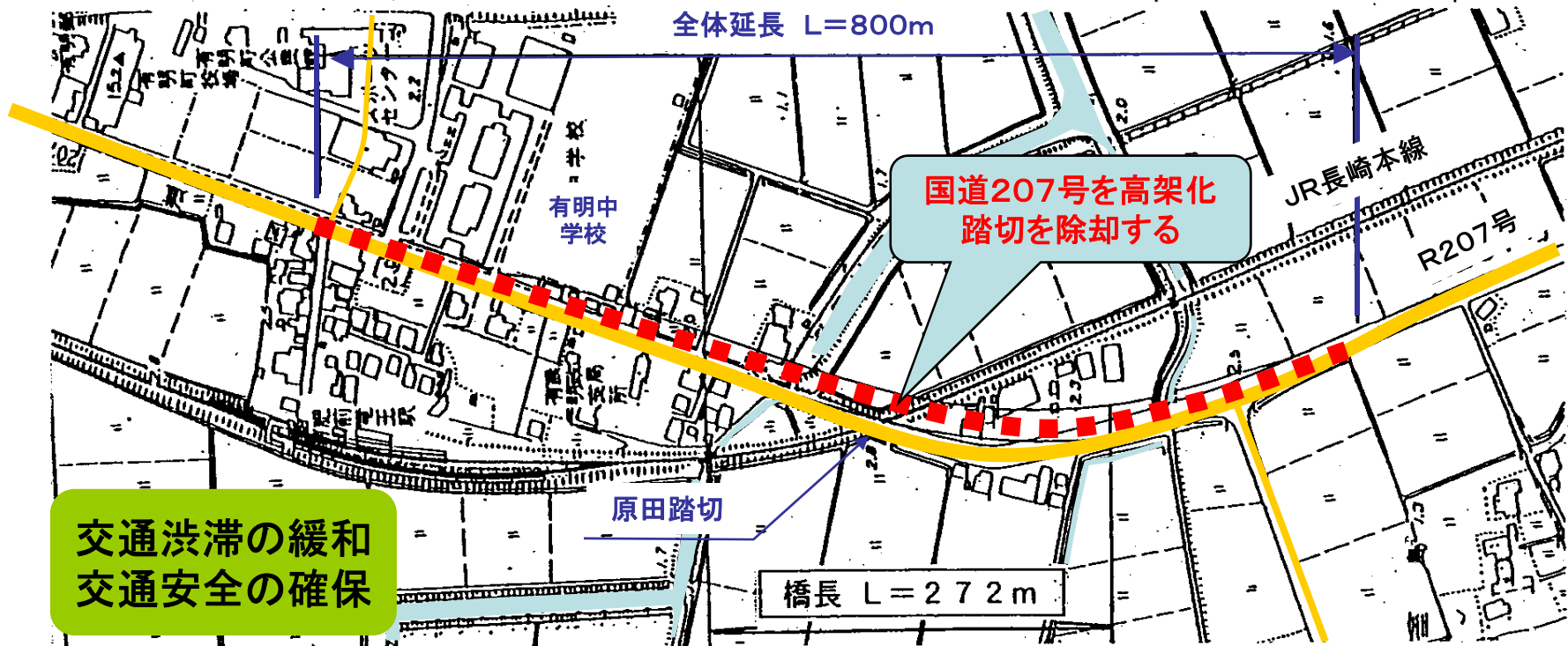
# 事業概要

- 全体事業費：40.1億円
- 工期：平成10年度～平成25年度（予定）
- 全体延長：L=800m
- 事業内容：改良工 L=800m  
用地買収 8,662m<sup>2</sup>  
家屋補償 18戸

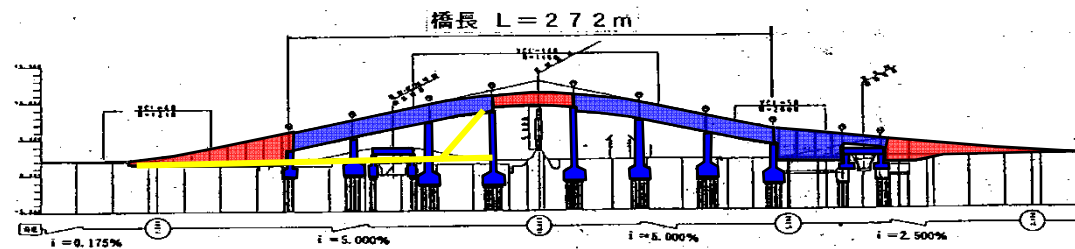
## 事業の進捗状況

	平成23年度まで	平成24年度	平成25年度以降
事業費(億円)	34.2	5.6	0.3
進捗率(%)	85.3	99.3	100.0
用地進捗率(%)	100.0	100.0	100.0

# 一般国道 207号 平面図

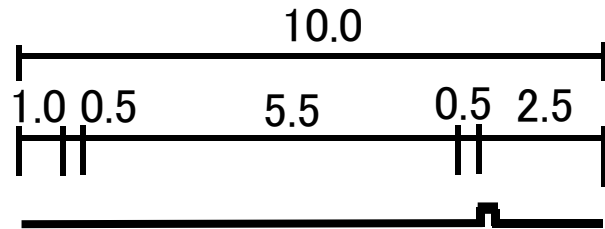


凡例	
青	平成23年度まで
赤	平成24年度施工箇所
黄	次年度施工箇所

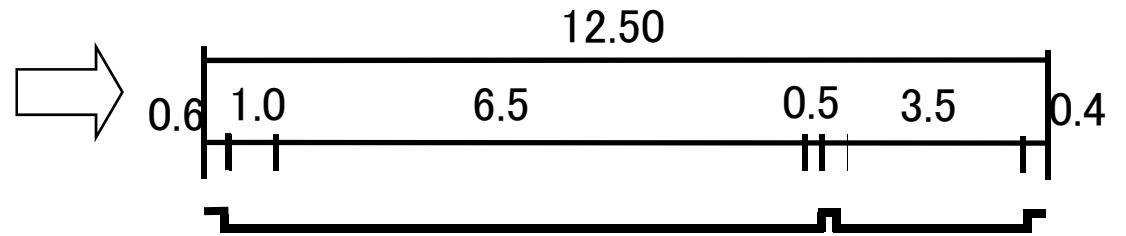


# 一般207号 横断図

現況



計画



# 平成24年 現地状況



起点側から終点を望む



橋梁部を望む



# 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の推移

H9 16,438台／日(基準)

H11 18,428台／日(1.12)

H17 17,707台／日(1.08)

H22 15,969台／日(0.97)

# 費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比(B/C)} = 84.7 / 44.5 = 1.9$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	73.0億円
走行経費縮小便益	=	11.0億円
交通事故減少便益	=	0.7億円
合計		84.7億円

- 【費用】

事業費	=	44.0億円
維持管理費	=	0.5億円
合計		44.5億円

# コスト縮減や代替案等の可能性

## (コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 耐候性鋼材の使用。

## (代替案の検討)

- 特になし

# 対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。